

通訳の訓練

通訳者に必要な能力と段階的訓練法

基礎的な能力

通訳訓練の前提

訓練の前提となる基礎的な能力

- 一般常識(新聞やテレビを含む他人の話をよく理解できるか)
- 幅広い知識(常に様々な分野の書籍や雑誌に目を通しているか)
- 学習能力(あるテーマについて自分で資料を収集したり調査することができるか)
- 体力はあるか(通訳業務をまる一日行なっても耐えられるか)
- 精神力はあるか(未知の分野に挑戦する、できなくても落ち込んだりしない)
- 人間関係を円滑に保てるか(身だしなみは? 言葉遣いは? 気配りは?)
- 演説の能力(聴衆を魅了するパフォーマンス・筋道の通った論旨展開)
- 相手国に対する理解(歴史・政治・経済・民俗・発想法・生活習慣・タブー)

聴いて理解する能力 (IN PUT)

- IN PUT = 音声の記号化・記号の思想化
 - 音声を言葉として認識する力 (音を語として認識できる力。ボキャブラリーの豊かさがポイント)
 - 言葉を意味として認識する力 (語義、語法、語用、文脈、知識からの総合的理解を指す)
 - まとまった内容の構成を分析する力

話して伝える能力 (OUTPUT)

- 音韻関連の表現力
 - 発音、発声、滑舌、声の質、速度、高低、大きさ
- 非言語表現力
 - ボディランゲージ、アイコンタクト
- 言語表現力
 - 語彙力、文法力、構成力

音声表現力の注意点

- か細い、または乱暴な発声をしていないか(信頼性、好感度の問題)
- 声の高さが一定に保たれ、極端な高音または低音になっていないか(聞き易さ)
- 発音・アクセント・イントネーションは正確か(聞き手にストレスのない日本語)
- 話し方の速度は適当か(理解を阻害しない適切な情報密度)
- 適当な間をおいた話し方をしているか(訳出の完成度を高める)

言語表現力

- 語彙の豊かさ
 - 同じ内容で何通りにも言い換える
- 言葉使用域
 - ことばのレベルに対する敏感さ
 - その場にふさわしい語彙を選択
- 文法力
 - 文章を組み立てる力
 - 文章を破綻させない力
- 論理的に話す力
 - 筋道の通ったわかりやすい論旨展開

通訳能力

通訳を行うための基礎的な能力

理解する力

- 私見を排して発言をありのままに素直に受け取っているか(思いこみを避け忠実に)
- 発言の単語にとらわれず意味をしっかりととらえているか(ビジュアルな理解も含めて)
- 論理分析を行い、情報を重要さに応じて整理しているか(話の意図を確実にとらえる)
- 各パラグラフの関係を把握できるか(逆接・順接・例示・反問などによる談話の組み立て)

蓄える力

- 一時的に記憶することができるか(談話の組立を含めて)
- 通訳ノートは発言内容の再現に有効か、ノートすることにとらわれて通訳の質を落としていないか
- 発言を聞き終わった時に、発言の内容を完全に消化して自分のものになっているか

発表する力

特に同時通訳の場合に注意する事項

- ・文として完結しているか(言いかけた文を終えないと聞き手に理解しにくいばかりか、はぐらかされたように感じる)
- ・文の途中で沈黙していないか(沈黙は聞き手に不安感を抱かせる)
- ・意味のない言葉の重複をしていないか(えー、あーなどの冗語の連発は耳障り)
- ・通訳以外の雑音がはいっていないか(ペンをノックする音、ページをめくる音。パートナーへの助け船はメモでおこなう。)

通訳基礎訓練

自宅でできる、一人でできる練習方法

基礎訓練(まだ訳さない！)

- 母語から母語へ / 外国語から外国語へ
 - リピート(短い句、文を復唱する)
 - リプロダクション(内容を再現する)
 - シャドーイング(同時に発音する)
 - サマライズ(聴取した内容を要約して再現する)
 - パラフレーズ(別の表現に言い換える)
 - スラッシュ・リーディング(分析しながら読む)
 - ダイアグラム分析(文章を図式化する)
 - 音読、クイック・リーディング

Repeating 教材の準備

■ 用意するもの

- 音声教材(聴いてほしい理解できる程度)
 - 教科書、テレビ・ラジオ講座のテープ、CDなど
 - 外国語学習雑誌の付録CDなど
- オリジナル教材を編集したMDまたはテープ
 - CDやテープを聞きながら文ごとに分割してダビング、文の間に原文と同じ時間のポーズを入れる
- 一時停止で止めながら練習してもよいが、短く区切って止めてしまいがちなうえに、どこで止めるかが気になって練習に集中できないので、なるべく使いやすく編集したものを聞いた方がよい。

Repeating 練習の方法

- 用意するもの
 - 文ごとにポーズをいれた練習用教材
 - もう一台の録音装置(テープレコーダー、PCなど)
- 自宅での練習方法
 - 編集済みのテープをイヤホンで聴きながら、ポーズの箇所で全く同じ調子で繰り返す。
 - 自分のリピートした声を録音しながら練習する。
 - 録音した自分の声を再生してミスをチェックする。
- 電車の中で、道を歩きながら.....
 - 声に出さず、頭の中だけで繰り返す

Reproduction 内容の再現

■ 教材の準備

- 母語または外国語の短いニュースなどの録音
- スピードは速くてもよい(聞き取れる程度)

■ 練習の方法

- 最初は母語から母語への練習を行う
- 30～60秒程度のまとまった内容を再現
- 表現方法は同じでなくてよい
- 自分の理解にもとづいて同じ内容を再現する
- 自分の声を録音してチェック

Shadowing 同時復唱

- 用意するもの
 - 母語または外国語の音声教材
 - 聴いてよく分かるもの
 - リピーティングに用いたものでも可
- 練習の方法
 - 耳で聴いたとおりに同時に発音する
 - 文字は見ずに行う
 - 間に合わない場合はリピーティングに使った編集済みの教材を使って
 - 慣れてきたら未編集のオリジナルテープで

Summarize

要約練習

■ 用意するもの

- ある程度まとまった内容の音声教材
- およそ120秒以上のもの

■ 練習の方法

- 内容理解に集中し、途中で止めずに聴く
- メモなどは取らず、聴くことに集中する
- 頭の中で談話の構成を分析しながら聴く
- 聴き終わったら要点をまとめて1分間程度で内容を口頭で説明する / 要約を文字で書いても可
- ペアで練習すればより効果的

Paraphrase 言い換え練習

■ 用意するもの

- RepeatingまたはReproduction用の音声教材

■ 練習方法

- 内容を変えずに別の言い方に変えてみる
 - 受動態 能動態
 - 上位概念 下位概念
 - 具体化、詳細化 抽象化、概念化
 - 辞書的説明、文化的説明
 - 動詞中心 名詞中心
 - 目標言語への訳出を念頭に構文を変える

Slash Reading 分析的に読む

- 用意するもの
 - 文字教材
 - 構文があまり単純でない文章
- 練習の方法
 - 文章に記号を付けながら分析的に読む
 - 文法的な関連に注意し構造を把握して読む
 - 実際の訳出を念頭において記号を使う
 - 次ページの実例を参照

『通訳の仕事』馬越恵美子 1995年より引用

Slash Readingの実際 (1)

- 主語: < > , 動詞: _____ , 主語の次に訳す箇所: < ,
文の途中の区切り: / , 文の終わり: //

<France> slipped into <lower gear <in the past year/

フランスは昨年低迷し/

with an economic growth of 1.5% /

経済成長率は1.5%であり/

compared <with 2.8% / <in 1990 / and / 3.9%<in 1989.//

1990年は2.8% , 1989年は3.9%でありました。

<That> was reflected <in the country's already high
unemployment rate/

これはフランスの失業率がすでに高いことにもあらわれています。

-<the jobless total> swelled over the year <to 9.6% <of the
workforce/

失業率は昨年、総労働者の9.6%にも達しました。

compared with 8.9% <in 1990.//

ちなみに1990年は8.9%でありました。

Slash Readingの実際 (2)

- 意味の切れ目に斜線、/ または // を入れる。
- 挿入句を{ }で括る。
- 主語[] 動詞成分____、修飾 > 被修飾、目的語()
- 接続語、呼応する語にマークする。
- 中国語のスラッシュ・リーディング例

[任何值得我們注意的 > 文化現象]總會(一個傳播的幅度)//

初一看,/[傳播]總是(好事),//

傳播得廣一點,久一點,/就能提升(一種文化的價值)//

使它{在更大的時空範圍內}接受考驗 //不斷自我調整,自我完善。

Diagram Analysis 図式的分析

- 用意するもの(文字教材)
 - 新聞の社説など、説明的な文章
 - 時事問題、産業関連の、論旨展開が明確な文章
- 練習の方法
 - 記事をコピーして全体を通して読む
 - 提示された情報単位ごとに分割して切り分ける
 - 切り分けたブロック相互の関連性に注意して別の白紙に並べそれぞれを直線や矢印でつなぐ
 - テキスト全体の構成と論旨展開を分析する
 - あるいは自分でまとめた要点を図式的に並べる

Diagram Analysis 実例

目黒博「通訳訓練のテクニック」より引用

映像ソフト = VHS > ベータ

ソニー = 音楽ソフトを確保したい

ビデオ戦争 = ソニーのベータ方式の敗北

CBSレコードの買収

8ミリビデオ

デジタル・オーディオ・テープ・

レーザーディスクなど : ソニーの新製品

レコーダーの販売量をのばせそう

映像ソフトを確保するメリット - - - - ソニーのコロンビア映画買収

- ・映画 = アメリカの文化
- ・日本企業のアメリカ買い
- ・ソニーはアメリカ政治に影響力を持ちすぎ

アメリカ人の反発 / 一部のアメリカ人:
歓迎 or 冷静

- ・アメリカへの投資を歓迎
- ・豪州企業も映画会社を買った。
なぜ日本企業だけ叩かれる？
- ・売る人がいるから買収が成立する。
ソニーだけ責めるのは不公平。

多読、速読、精読、音読

- 知識拡充のための広範囲にわたる大量の読書
- 個々の語の意味にとらわれず全体の内容をつかむ速読
- スラッシュリーディングのような精密な読み
- 滑らかな発話能力をつけるための音読
- 音声テープに合わせて朗読し、自然な速度感覚をやしなうパラ・リーディング
- できる限り速く音読するクイック・リーディング
- じっくりと取り組む翻訳

いよいよ訳す練習をはじめ

時差通訳・逐次通訳・同時通訳

短時間の逐次通訳

- 短文逐次 **リピーティング練習の延長線**
 - 数秒から十数秒程度の一文ごとの通訳
 - A B、B Aの双方向
 - ノートを取る必要はない
- 想定される通訳現場
 - アテンド通訳
 - ガイド通訳
 - エスコート通訳
 - コンパニオン通訳

一般的な逐次通訳

■ 中くらいの長さの逐次通訳:

リプロダクション練習の延長線

- オリジナルの内容と構造を保つ
 - 1分～3分間程度の長さ
 - A B、B Aの双方向
 - ノートを取る必要が生じる
- ## ■ 想定される通訳の現場は最も多岐にわたる
- 商談、交渉通訳
 - 表敬訪問、ショート・スピーチ
 - 一般的な講演

要約逐次通訳

- 長いスピーチを要点だけ: **サマライズの延長線**
 - オリジナルの要点を抽出
 - 3分間以上のまとまった談話
 - A B、B Aの双方向
 - ノートを取り、情報を取捨選択
- 想定される通訳現場
 - 通訳時間の制限
 - ひどく冗長なスピーチ
 - 要約逐次を要求されることは多くない

逐次通訳のノート・テイキング

- **ダイアグラム分析練習の延長線**
 - 通訳者の記憶を補助する
 - 通訳者の理解を促進する
- **ノートの三原則**
 - すばやく書ける(記号や略語の活用)
 - 構造を明示している(空間配置の利用)
 - 一時的に用いられる(記録を目的としない)

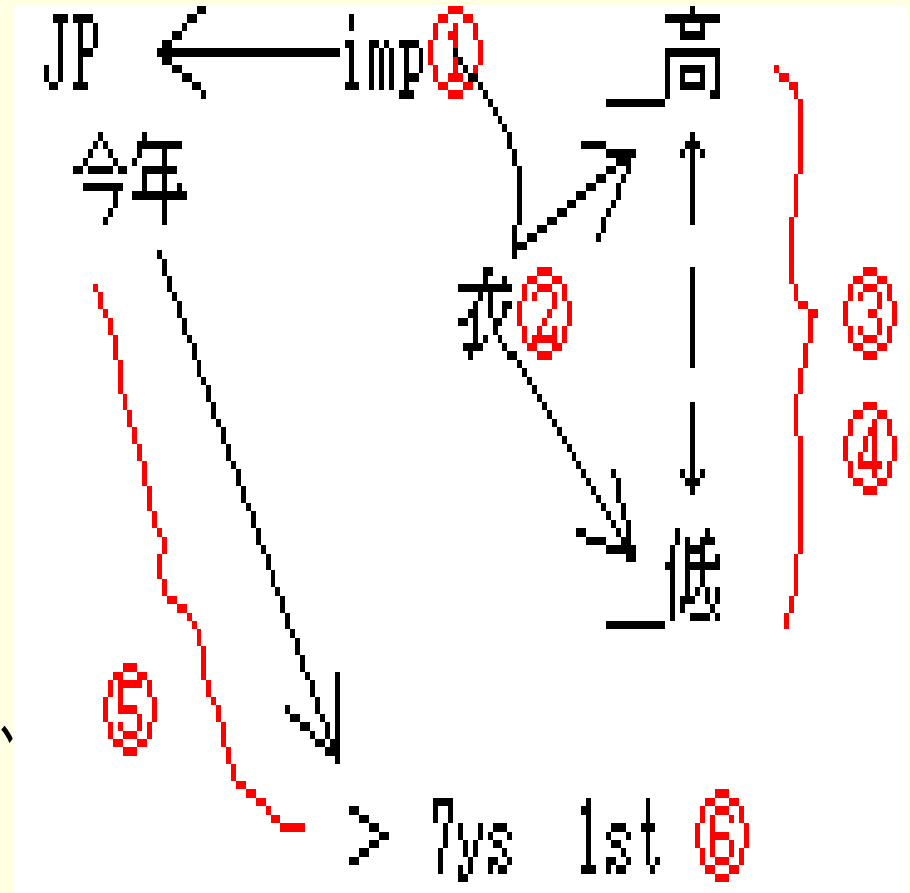
ノートテイキングの方法

- 構造明示の工夫
 - 縦方向配置
 - 行頭の字下げ
 - 箇条書き
 - 区切り線を引く
- 省力化の工夫
 - 記号や略語の活用
 - 漢字の効用
 - かな書きの効用

ノートの実際 (1)

Japan's imports of clothing, from haute couture to low-cost ready-to-were items are expected to decline this year, for the first time in seven years.

日本の衣料品輸入は、高級衣料品から低価格の既製品まで、今年は一減する見込みです。これはこの七年間ではじめてのことです。



ノートの実際(2)

Q: クローン / 技

公 <) OK?

A: 人 × 動 ex. ハーバードマウス

DNA / ガン

US
JP OK

チャクラバティ 判決

自然 / 創造

発明?

クローン技術について質問があります。公序良俗維持の見地から言うと認められますか？

人間は駄目だが動物ならよいでしょう。この例として有名なものがハーバードマウスです。これは特に癌にかかりやすい遺伝子を持ったマウスでこの発明はアメリカと日本では認められました。

しかし、チャクラバティ判決と呼ばれる判例では、自然物の創造が、発明としてとらえられるかどうかの問題になったのです。

ノートに用いる英文略語の例

- **略語：一義的に対応する訳語があるもの**
 - **国名、都市名、組織名**
 - JP、US、CN / TOK、NY、PEK / UN (国連)、UNHCR (国連難民高等弁務官事務所) など
 - **省略表記**
 - GVT (政府)、COY (会社)、IMP (輸入)、MSG (メッセージ)、VST (訪問する)、TKS (感謝)
 - EX. (たとえば)、BT (しかし)、BCZ (なぜなら)
 - ETD (出発予定時刻)、ASAP (早急に)

ノートに用いる記号の例

■ 矢印

- \rightarrow : 前進、未来、すなわち、～であれば、行く、
- \leftarrow : 後退、過去、なぜなら、戻る、
- \nearrow : 上昇、増加
- \searrow : 下降、減少

■ その他の記号

- + : 加えて、補足、さらに × : 倍増
- % : 割合 ~ : 変化 : したがって
- $A > B$: AはBより大きい

原稿付き通訳

■ Sight Translation

- 原稿を見ながら口頭で訳出する
 - 通訳形式の中でも難度が高いものひとつ
 - 原文の字面にとらわれないことが肝心
 - 書き言葉から話し言葉へ転換する
- 基礎訓練との関連性
 - スラッシュ・リーディング(訳出前の準備として)
 - パラフレーズ(臨機応変な言い換え)
 - 音読(滑らかな発音、滑舌)

ウィスパリング通訳

- 少人数(一人～三人くらい)の聞き手の耳元でささやくように同時に通訳する形式
- 想定される通訳現場
 - レセプション・パーティーでの挨拶通訳
 - 講演会
 - 見学
- 同時通訳装置を使わないため周囲の雑音がじゃまになりがち。
- 要点をかいつまんで訳すほうが聞き手の負担にならない。

同時通訳

- 同時通訳ブースに設置された通訳装置を使う
- ヘッドフォンでオリジナル音声を聞きつつマイクに向かって訳出する。
- ひとまとまりごとの意味の単位で訳す。
- 一文は短めにまとめて完結させる。
- オリジナルとの距離
 - テクニカルなもの、数字が頻出する談話は短めに
 - 情緒的なもの、ストーリーのある談話は長めに

参照サイト

■ 通訳訓練法

- <http://www.alc.co.jp/eng/tsuyaku/chikara/kunren/>
- [http://jais-ed.hp.infoseek.co.jp/TsuHonJournal/tanaka\(No_9\).html](http://jais-ed.hp.infoseek.co.jp/TsuHonJournal/tanaka(No_9).html)
- <http://www.soeda.co.jp/inter/advice.htm>
- <http://www.isscc.co.jp/info/interpreter.html>
- <http://nikka.3.hotspace.jp/hyooka.htm>
- <http://nikka.3.hotspace.jp/kunrenhoo.htm>

■ ノートの取り方

- <http://nikka.3.pro.tok2.com/note.htm>
- <http://member.nifty.ne.jp/NAGATA/note/note1.htm>

■ 事前準備

- <http://www.kotoba.jp/>
- <http://village.infoweb.ne.jp/~fwkd6368/uper.htm>
- <http://nikka.3.hotspace.jp/junbi.htm>
- <http://nikka.3.hotspace.jp/rsch.htm>